

■坪井玄道 体育行政家。“普通体操”の普及・卓球の移入・女子体育の発展などに貢献し、日本の“学校体育の父”。

つばいげんどう

万次郎帰国・1852＝ 下総国葛飾郡の農家に生まれる。

ペリー来航・1853＝ 1歳：

桜田門外変・1860＝ 8歳：

遣欧使節・ 1861＝ 9歳：

薩長同盟・ 1866＝14歳：医学を志し、江戸の開成所で英語を学ぶ。

明治維新・ 1868＝16歳：

初の日刊新聞1870＝18歳：

廃藩置県・ 1871＝19歳：大学少得業生となり、

学問のすすめ1872＝20歳： 文部省出仕に任ぜられ、師範学校係として、東京師範学校創設に際してアメリカから招かれたM. M. スコットの通訳を担当。

明治6年政変 1873＝21歳：

その後、仙台の英語学校教員に転じていたが、

大久保暗殺・1878＝26歳： *創設された体操伝習所の教師となり、アメリカの医師リーランドの通訳を兼ねながら、彼の紹介した軽体操を“普通体操”と呼んで、その普及に努める。

琉球処分・ 1879＝27歳：

明治14年政変1881＝29歳：

秩父事件・ 1884＝32歳：この間、田中盛業とともに「小学普通体操法」、

内閣発足・ 1885＝33歳：「戸外遊戯法」、

帝国大学始・1886＝34歳： 体操伝習所廃止後は、東京高等師範学校に新設された体操専修科の助教授となり、

国民之友始・1887＝35歳：「改正普通体操法」などを著した。

初の対等条約1888＝36歳：

帝国憲法発布1889＝37歳：

帝国議会始・1890＝38歳： *東京高等師範学校教授兼東京女子高等師範学校教授に就く。

日清戦争始・1894＝42歳：

八幡製鉄始・1897＝45歳：

田中正造直訴1901＝49歳： 体操研究のためフランス、イギリス、ドイツに留学し、

教科書疑獄・1902＝50歳： 帰国後、当時ドイツで行われていた舞踏や行進遊戯を紹介し、イギリスから日本に初めて卓球を移入。

日露戦争始・1904＝52歳： *体操遊戯取調委員会の一員として、普通体操や戸外遊戯の普及に努め、

日露戦争終・1905＝53歳：

満鉄発足・ 1906＝54歳：

伊藤博文暗殺1909＝57歳： 退官後も、

東京音楽学校や東京女子体操音楽学校などで女子体育の発展に尽力、日本の“学校体育の父”と呼ばれ、

明治天皇没・1912＝60歳：

大正政変・ 1913＝61歳： 公布された「学校体操教授要目」の立案に参加、

21ヶ条要求・1915＝63歳：

原敬首相暗殺1921＝69歳：

水平社結成・1922＝70歳： 東京女子体操音楽学校を辞めて、名誉校長となった直後に、没した。